

2020年2月22日（土）『神戸学校』

作家 石田 香織さんをお招きして開催

株式会社フェリシモ（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：矢崎和彦）は、各界の第一線でご活躍中の方をゲストに、神戸にて「経験と言葉の贈りもの」というコンセプトで月1回メッセージライブを開催しています。2020年2月には、作家の石田 香織さんをお招きします。

『神戸学校』2020年2月 開催概要

ゲスト：石田 香織さん〈作家〉

テーマ：「他者とのつながりから生まれる未来のしあわせ
～自分として生きる～」

日時：2020年2月22日（土）
13：30-16：00 *13：00 開場

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）2階
STAGE FELISSIMO（神戸市中央区小野浜町1-4）

参加料：おひとり 一般 1,200円（学生 1,000円）

- * 中学生以下の方は無料
- * 『神戸学校』の参加料は、全額「あしなが育英会」を通じて、東日本大震災遺児への支援に活用されています。

交通：阪神神戸三宮駅、阪急神戸三宮駅、JR 三ノ宮駅より
徒歩約20分 ポートライナー「貿易センター駅」より
徒歩約10分



会社員をしながら、演出家 森田雄三氏のもと、お芝居をされていた石田さん。休職中、森田さんの勧めで小説を書き始めてから2年後の2017年、『きょうの日は、さようなら』（河出書房新社）でデビューなさいました。石田さんによるリアリティあふれかつ味わい深い下町の登場人物たちが織り成す物語には、パンチがありながらも深いあたたかみを感じます。そのデビュー作が反響を呼び、二作目『哲司、あんたのような人間を世の中ではクズと呼ぶんやで』も2018年に上梓されました。石田さんの師匠、森田雄三さんがライフワークとして取り組んでおられたのが、素人芝居のワークショップです。「ふつうの人たち」が突然舞台上に上げられて、生身の自分をさらけ出しながら、丸裸で他者と向き合い、即興で芝居を創っていくという破天荒とも言える試みです。それは「ふつうの人たちの中にこそドラマがある」「本人が欠点だと思っている部分こそが魅力」とその人の中にある「何か」を必死で引き出そうとする情熱に基づいた試みでした。

『神戸学校』では石田さんが師匠とのやり取りの中、どのような経緯でご自分の力に気づき、それを磨き、作家となられたのかをうかがいます。石田さんの作品の根底には、血のつながりのない他者とのつながりから得られる「しあわせ」がテーマにあります。そのテーマとも絡めながら、石田さんを作家たらしめた出会いと気づき、道の切り拓き方についてお話をうかがいます。

■ゲストプロフィール

石田 香織（いしだかおり）さん〈作家〉プロフィール

1976年、兵庫県生まれ。神戸市在住。会社勤務の傍ら96年より森田雄三創作塾にて創作を学ぶ。10年勤務した会社を休職したのをきっかけに小説を書き始め、2015年12月せめてしゅういち出版部より短編小説集『マトリョーシカ』を刊行。2017年河出書房新社より『きょうの日は、さようなら』で作家デビュー。二作目に『哲司、

あんなのような人間を世の中ではクズと呼ぶんやで』（同社）がある。

■『神戸学校』 2月の参加お申し込みはこちら

>> <https://feli.jp/s/kg200129/1/>

■『神戸学校』とは

『神戸学校』は、阪神・淡路大震災をきっかけにスタートしたメッセージライブです。2004年に、メセナアワードの『文化庁長官賞』を受賞しました。豊かな人生を送ることを目指した「生活デザイン学校」として、毎月1回、各界でご活躍のオーソリティーを神戸にお招きして開催しています。これまでのゲスト（2020年1月まで。YouTubeが開きます）>> <https://feli.jp/s/kg200129/5/>



『神戸学校』ウェブサイト>> <https://feli.jp/s/kg200129/2/>

Twitter>> <https://feli.jp/s/kg200129/3/>

Facebook>> <https://feli.jp/s/kg200129/4/>

■お問い合わせ

神戸学校事務局 TEL:078-325-5727

(平日 10:00~17:00)

eメールアドレス: kobe@felissimo.co.jp

— 会社概要 —

社 名 : 株式会社フェリシモ
本 社 所 在 地 : 〒650-0035 神戸市中央区浪花町 59 番地
代 表 者 : 代表取締役社長 矢崎和彦
創 立 : 1965 年 5 月
事 業 内 容 : 自社開発商品をカタログやウェブサイトにて全国の生活者に販売するダイレクトマーケティング事業